



## サーバーレスオンデマンドプリント 設定情報作成ツール 取扱説明書

- ・ Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
  - ・ その他の社名、または商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation の許可を得て画面写真を使用しています。

**ご注意**

- ・ このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。
- ・ このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- ・ このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OS のバージョンによって異なることがあります。

FUJIFILM、および FUJIFILM ロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。

---

# 本書の使い方

本機を使用する前に必ずこのマニュアルをお読みください。このマニュアルは、読み終わったあとも必ず保管してください。

## 本書の表記

- 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。



### 注記

必ず知っておいていただきたい情報、操作するときには必ず確認していただきたい情報を記載しています。



### 補足

操作の参考になる情報を記載しています。



### 参照

参照先を記載しています。

- 本文中では、次の記号を使用しています。

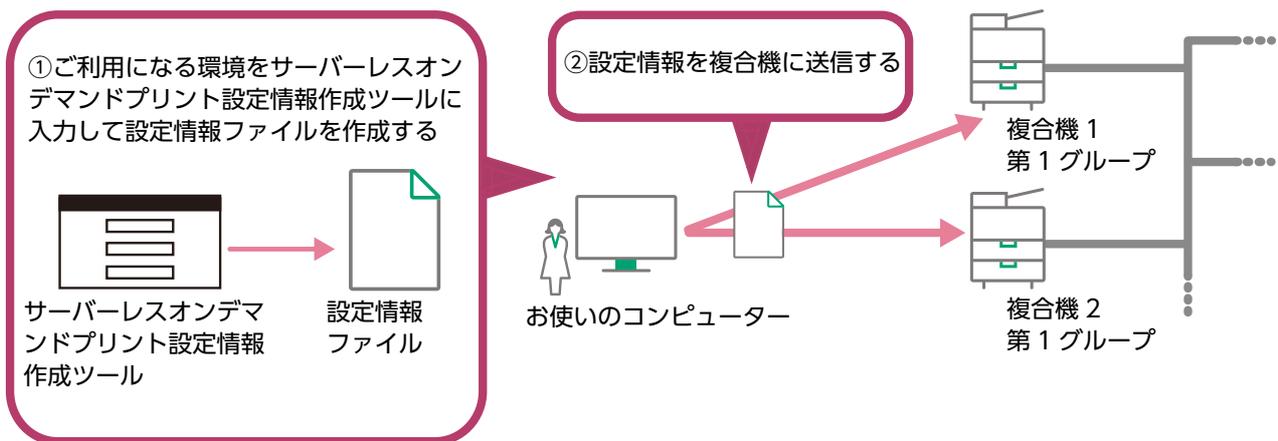
「    」	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 本書内にある参照先を表しています。</li><li>・ 機能の名称やタッチパネルディスプレイのメッセージ、入力文字列などを表しています。</li></ul>
『    』	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 参照するマニュアルを表しています。</li></ul>
[    ]	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 機械のタッチパネルディスプレイに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。</li><li>・ コンピューターの画面に表示されるメニュー、ウィンドウ、ダイアログボックスなどの名称と、それらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。</li></ul>
<    > ボタン	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 機械の操作パネル上のハードウェアボタンを表しています。</li></ul>
<    > キー	<ul style="list-style-type: none"><li>・ コンピューターのキーボード上のキーを表しています。</li></ul>
>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 操作パネルやコンピューターで順に項目を選択する手順を、省略して表しています。</li></ul>

# 1 サーバーレスオンデマンドプリント設定情報作成ツールとは

サーバーレスオンデマンドプリント設定情報作成ツールは、サーバーレスオンデマンドプリントでご利用になる環境をお使いのコンピューターで一括入力し、設定情報ファイルを作成するツールです。本ツールで作成した設定情報を選択した複合機に送信し、設定することができます。

## 注記

- ・機械の管理者メニューからサーバーレスオンデマンドプリントの設定を変更した場合は、本ツールを使って設定情報ファイルも更新してください。



サーバーレスオンデマンドプリントには、次の 2 種類があります。お使いの環境に合わせて、使用するアプリケーションとツールを選択してください。

## どこでもプライベートプリント

本体認証、外部認証、認証しないモードで IC カードをお使いの場合に利用できます。

## ID 選択プリント

認証しないモードで、IC カードも利用していない場合に使用できます。

## 注記

- ・お使いの機種によって、利用できないアプリケーションがあります。各アプリケーションを利用できる機種については、それぞれのアプリケーションの取扱説明書を参照してください。

## 必要な環境

## 参照

- ・本ツールのご利用に必要な環境については、本ツールの圧縮ファイルに同梱された「[readme.html](#)」をご覧ください。

## 2 設定情報ファイルの作成

本ツールで設定情報ファイルを作成するために必要な設定項目を説明します。まず事前準備を行い、その後、本ツールを使用して設定情報ファイルを作成してください。

### 事前準備

本ツールでは、以下の情報を入力します。サーバーレスオンデマンドプリントを使用する環境にあわせて、あらかじめ確認、または決定しておきます。

### 複合機の情報

サーバーレスオンデマンドプリントで使用する機械の各設定を確認します。確認方法は、お使いの機械のマニュアルを参照してください。

- ・ 機械管理者 ID および機械管理者パスワード\*1
- ・ IP 動作モード\*1、IP アドレスまたはホスト名

\*1:お使いの機械とプリントジョブを共有する機械の設定が同じになるように設定してください。

#### 注記

- ・ セカンダリーネットワーク (オプション) を使用できる機械をお使いの場合、サーバーレスオンデマンドプリントを使用するときは、本ツールおよび複合機の IP アドレスには、プライマリーネットワークのアドレスを設定してください。サーバーレスオンデマンドプリントはセカンダリーネットワークでは使用できません。
- ・ SSL 設定の有効 / 無効
- ・ ポート番号 (SSL が有効な場合の SSL のポート番号)

#### 補足

- ・ SSL 無効時はポート番号は指定できません。SSL 有効時は、デフォルトポート番号 (443) を使用しない場合に指定します。
- ・ シリアル番号
- ・ 所属するグループ

### グループ

必要に応じてグループ分けを決定します。

- ・ グループ名

#### 参照

- ・ 「グループ ([どこでもプライベートプリント用ツール] の場合)」 (P.9)、 「グループ ([IID 選択プリント用ツール] の場合)」 (P.9) を参照してください。

### 設定情報ファイルの作成

サーバーレスオンデマンドプリントの環境を構築するための設定情報ファイルを作成します。設定は、各設定ツールのメイン画面から行います。

#### 注記

- ・ 設定情報ファイルは、本ツール以外で作成しないでください。

### 操作手順

- 1 お使いのコンピュータで、弊社公式サイトからダウンロードした本ツールの圧縮ファイルを解凍し、フォルダー内の「UserTool.exe」をダブルクリックします。サーバーレスオンデマンドプリント設定情報作成ツールが起動し、ツールを選択する画面が表示されます。

#### 補足

- ・ [セキュリティの警告] 画面が表示された場合は、[実行] を押して続行してください。

- 2 運用するアプリケーションに合わせて、[どこでもプライベートプリント] または [ID 選択プリント] のボタンをクリックします。

#### 注記

- ・ [ID 選択プリント] は、お使いの機種によっては、利用できない場合があります。対応機種については、弊社公式サイトをご覧ください。
- ・ [撤収] タブは、お使いの機械からサーバーレスオンデマンドプリントをアンインストールするときを使用します。

- 3 各設定ツールのメイン画面で [環境設定]、[複合機の登録]、または [グループ名の変更] をクリックすると、それぞれの設定画面が表示されます。各画面で任意の項目を設定し、[OK] をクリックします。

#### 補足

- ・ 作成済みの設定情報ファイルを再編集する場合は、最初に [ファイル] メニューから [設定情報ファイルの読み込み] を選択して、設定情報ファイルを読み込んでから各項目を設定します。
- ・ 編集中に、設定した内容をすべて初期値に戻す場合は、[編集] メニューから [設定の初期化] を選択します。
- ・ お使いのツールのバージョンは各設定ツールのメイン画面の左下に表示されます。

#### 注記

- ・ 古いバージョンの設定情報作成ツールで作成した設定情報ファイルは、最新の設定情報作成ツールで読み込むことができます。ただし、設定情報作成ツール V1.0 で SSL 無効、かつポート番号が [80] ではない機械を設定した設定情報ファイルを最新の設定情報作成ツールで読み込むと、ポート番号は自動的に空文字に変更されます。
- ・ 最新の設定情報作成ツールで作成した設定情報ファイルは、古いバージョンの設定情報作成ツールで読み込まないでください。正常に読み込めない場合があります。
- ・ [どこでもプライベートプリント用ツール] と [ID 選択プリント用ツール] で作成した設定情報ファイルは、お互いに読み込むことができます。ただし、作成するのに使用したツールと別のツールで読み込み、保存したファイルを、再度元のツールで読み込むと、最初に設定した値が変わっている場合があります。

- 4 [ファイル] メニューから [設定情報ファイルの保存] を選択します。

- 5 設定情報ファイルを保存する場所を指定したあと、任意のファイル名を入力して [保存] をクリックします。

#### 補足

- ・ 設定情報ファイルの種類は [xml] で保存してください。その他の種類で保存すると正しい設定情報ファイルが作成されません。

続けて、設定情報ファイルを複合機に送信します。「設定情報の送信」(P.10) に進んでください。

## [環境設定] 画面

[環境設定] 画面では、サーバーレスオンデマンドプリントの使用環境を設定します。

### 文書選択の初期設定

操作中の機械で文書の一覧画面を表示するときに、文書が選択された状態にするかどうかを設定します。

## リストに表示する文書の初期設定（[どこでもプライベートプリント用ツール] の場合）

文書の一覧画面の文書一覧の初期表示を設定します。

[この複合機の文書] を選択すると、操作中の機械に蓄積されている文書の一覧が初期表示されます。[すべての複合機の文書] を選択すると、操作中の機械とジョブを共有する機械（以降、リモート機と呼びます）に蓄積されているすべての文書の一覧が初期表示されます。[この複合機が所属するグループ] を選択すると、[複合機の登録] 画面で設定したグループ分けに応じて、グループ内の機械に蓄積されている文書の一覧が初期表示されます。[第 1 グループ] ~ [第 10 グループ] のいずれかを選択すると、該当グループの機械に蓄積されている文書の一覧が初期表示されます。

## 文書の検索動作（[どこでもプライベートプリント用ツール] の場合）

文書を検索するときの動作を指定します。文書の検索は、リモート機に対して 5 台単位で実施されます。[文書が見つかったら検索を停止] を選択した場合は、検索中の 5 台の中で文書が見つかると、次の検索動作を停止します。

### 補足

- ・ [すべての複合機を検索] を選択した場合は、機械の登録台数と接続タイムアウト時間によっては、文書の検索に時間がかかることがあります。

## ユーザー ID 選択の複合機指定（[ID 選択プリント用ツール] の場合）

ユーザー ID を選択する画面の初期表示を設定します。

[この複合機の文書] を選択すると、操作中の機械に蓄積されている文書のユーザー ID の一覧が初期表示されます。

[この複合機が所属するグループ] を選択すると、[複合機の登録] 画面で設定したグループ分けに応じて、グループ内の機械に蓄積されている文書のユーザー ID の一覧が初期表示されます。

[第 1 グループ] ~ [第 10 グループ] のいずれかを選択すると、該当グループの機械に蓄積されている文書のユーザー ID の一覧が初期表示されます。

### 補足

- ・ グループ未登録機に蓄積されている文書の一覧は取得できません。

## ユーザー ID の選択順（[ID 選択プリント用ツール] の場合）

ユーザー ID を選択する画面での表示順を [名前の昇順]、[名前の降順] から選択します。

## 文書の表示順

文書の表示順を設定します。

### 補足

- ・ どこでもプライベートプリント V5.x 以前、および ID 選択プリント V1.x をお使いの場合は、併せて「どこでもプライベートプリント V5.x 以前 /ID 選択プリント V1.x をお使いの場合の注意 / 制限事項」(P.19) をご確認ください。

### 参照

- ・ 設定例については、「[文書の表示順] / [全文書選択時のプリント順] の設定例」(P.12) を参照してください。

## 全文書選択時のプリント順

すべての文書を選択したときのプリント順を [[文書の表示順] の設定に従う]、[日時の新しい順]、[日時の古い順] から選択します。

### 補足

- ・ どこでもプライベートプリント V5.x 以前、および ID 選択プリント V1.x をお使いの場合は、併せて「どこでもプライベートプリント V5.x 以前 /ID 選択プリント V1.x をお使いの場合の注意 / 制限事項」(P.19) をご確認ください。

### 参照

- ・設定例については、「[文書の表示順] / [全文書選択時のプリント順] の設定例」(P.12) を参照してください。

### 接続タイムアウト時間

操作中の機械からリモート機に文書のプリントやジョブの削除を指示したり、リモート機から文書の一覧を受信したりするときの、接続の有効時間を設定します。ここで設定した時間以内に接続しないと、指示が無効になります。

### 補足

- ・一度に大量の文書をプリント指示した場合や、処理に時間がかかる複雑な文書が含まれる場合、最後のページを受け付ける前にタイムアウトすることがあります。タイムアウトすると、受信したプリントジョブはキャンセルされるので、使用状況を考慮して時間を設定してください。
- ・機械の登録台数と接続タイムアウト時間によっては、文書の受信に時間がかかることがあります。使用状況を考慮して時間を設定してください。

### [履歴からプリント] の使用

[履歴からプリント] 画面を使うかどうかを設定します。さらにプリント済みの文書や転送中 / 転送済みの文書を再利用するかどうかを設定します。

[する] を選択すると、プリントや転送が完了した文書は削除されず、[履歴からプリント] 画面から再度プリントできます。

### 補足

- ・本設定を [しない] に設定した場合は、蓄積しているジョブをプリント後に削除します。ただし、どこでもプライベートプリントの場合は、お使いのバージョンによって削除しないように設定することもできます。詳しくは、「プリント後に削除の初期設定（[どこでもプライベートプリント用ツール] の場合）」(P.8) を参照してください。
- ・サーバーレスオンデマンドプリント Ver.4.x では、本設定は機械の画面に [プリント済み文書の再利用] と表示されます。この場合、[再利用する] または [再利用しない] を選択します。

### プリント後に削除の初期設定（[どこでもプライベートプリント用ツール] の場合）

蓄積しているジョブのプリントを実行したときに、そのジョブを削除するかどうかを設定します。本項目は、[[履歴からプリント] の使用] を [しない] に設定した場合のみ有効です。

### 注記

- ・リモート機からプリントする機械にジョブが送信された時点でプリントを実行したと判断します。この項目で [削除する] を選択すると、プリントする機械のエラーによってプリントが中止された場合でも、蓄積されているジョブが削除されず、[削除する] の運用で問題がある場合は、[[履歴からのプリント] の使用] を [する] に設定することをお勧めします。
- ・ここで [削除しない] に設定しても、この設定項目に対応していない機械では設定が無効になり、[削除する] が適用されます。

### 認証エラーの詳細表示

エラーメッセージの表示方法を設定します。

[する] を選択すると、画面全体にポップアップ画面が表示され、エラーの詳細を確認できます。

[しない] を選択すると、画面の上部にエラーの概要だけ表示されます。

### 文書一覧の初期表示

文書一覧の表示方法の初期値を設定します。

### 文書の検索方式（[どこでもプライベートプリント用ツール] の場合）

文書の検索方法を、[認証時の ID で検索] か [すべての ID で検索] から選択します。

## [複合機の登録] 画面

[複合機の登録] 画面では、サーバーレスオンデマンドプリントで使用する機械を一括して設定します。

### 補足

- ・ 複合機は、最大 100 台まで連携できます。100 台まで連携できる機種については、サーバーレスオンデマンドプリントの取扱説明書を参照してください。
- ・ リストから設定を削除するときは、削除する行を選択し、画面左下の [複合機の削除] をクリックすることで削除できます。

## IP アドレス / ホスト名

IP アドレスまたはホスト名を入力します。

### 注記

- ・ IPv6 のアドレスを入力するときは [2001:DB8::1234] のように、IPv6 アドレスを半角の角括弧でくくってください。

## SSL

機械で設定した SSL の設定を選択します。[有効] に設定した場合は、操作中の機械からリモート機の文書一覧を取得するときに SSL を使用します。

設定を変更する場合は、この設定だけでなく、機械側の設定も変更してください。

### 注記

- ・ リモート機からの文書一覧取得等には SSL 通信が利用できますが、プリントデータ転送には SSL を利用することができません。

## ポート

使用するポート番号を入力します。ポート番号は、SSL の設定により、以下の値を入力します。

- ・ SSL 無効時：空文字（変更できません）
- ・ SSL 有効時：SSL のポート番号

デフォルトポート番号（443）を使用する場合は空文字

### 補足

- ・ SSL 有効時のポート番号はすべての機械で一致している必要があります。
- ・ ポート番号に空文字以外を入力する場合（デフォルトポート番号以外を使用する場合）は、すべての機械に同じポート番号を設定してください。
- ・ 設定情報作成ツール V1.0 で SSL 無効、かつポート番号が [80] ではない機械を設定した設定情報ファイルを最新の設定情報作成ツールで読み込むと、ポート番号は自動的に空文字に変更されます。

## グループ（[どこでもプライベートプリント用ツール] の場合）

所属するグループを選択します。使用環境にあわせて、機械をグループに分けておくと、特定のグループに所属する機械だけを検索することができ、文書を早く取得できます。

### 補足

- ・ グループ未登録機に蓄積されている文書の一覧を取得するには、文書の一覧画面で [すべての複合機の文書] を選択する必要があります。そのため、機械の登録台数によっては、文書の一覧が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- ・ グループ名は変更できます。詳しくは、[グループ名の変更] 画面（P.10）を参照してください。

## グループ（[ID 選択プリント用ツール] の場合）

所属するグループを選択します。自分が蓄積した文書をグループごとに検索できます。

1 グループには 10 台まで設定できます。

### 補足

- ・ ID 選択プリントの場合、グループに所属していない機械の情報は検索できません。必ずグループを選択してください。

- ・グループ名は変更できます。詳しくは、「[グループ名の変更] 画面」(P.10) を参照してください。

### シリアル番号

機械のシリアル番号を入力します。

### 設置場所

設置場所として任意の文字を入力します。全角と半角ともに 255 文字以内で設定できます。

### 通信優先度

選択した機械が文書を取得するときの優先順位を設定します。

### 自動設定

[自動設定] を押すと、登録したすべての機械に対して、文書を取得するときの優先順位が自動で設定されます。まず、選択した機械と同じグループの機械が高い優先度に設定され、次に、それ以外のグループの機械とグループ未登録機（[どこでもプライベートプリント用ツール] の場合）の優先度が設定されます。このとき、[複合機の登録] 画面で登録した順に優先度が割り当てられます。

## [通信優先度の設定] 画面

選択した機械が文書を取得するときの優先順位を設定します。

[自動設定] を押すと、登録したすべての機械の通信優先度が自動で設定され、リストが並び替えられます。まず、選択した機械と同じグループの機械が高い優先度に設定され、次に、それ以外のグループの機械とグループ未登録機（[どこでもプライベートプリント用ツール] の場合）の優先度が設定されます。このとき、[複合機の登録] 画面で登録した順に優先度が割り当てられます。

#### 補足

- ・[どこでもプライベートプリント用ツール] では、操作中の機械の文書の一覧画面で、すべての機械、または特定のグループに蓄積された文書の一覧を表示する場合は、ここで登録された機械（グループの場合は、同グループに設定された機械）を上から 5 台単位で順に接続し、リモート機に蓄積されている文書の一覧を検索します。よって、よく利用するリモート機の優先度を上げて登録することをお勧めします。

## [グループ名の変更] 画面

[グループ名の変更] 画面では、グループの名称を設定できます。グループ名は全角と半角ともに 20 文字以内で設定できます。

#### 補足

- ・機械の画面上に表示できる文字は全角で 10 文字までです。

## 設定情報の送信

作成した設定情報を、選択した複合機へ送信する手順について説明します。

#### 注記

- ・複合機にインストールされているサーバーレスオンデマンドプリントのバージョンによっては、設定情報を送信できない場合があります。
- ・お使いのコンピューターと複合機が通信するために以下のポートを使用します。
  - SOAP ポート：[複合機の登録] 画面で指定したポート番号
  - 設定用ポート（どこでもプライベートプリント用ツール）：58051 (SSL 無効時)、または 58551 (SSL 有効時)
  - 設定用ポート（ID 選択プリント用ツール）：58052 (SSL 無効時)、または 58552 (SSL 有効時)

**操作手順****1** 各設定ツールのメイン画面で「設定情報の送信」をクリックします。 **補足**

- ・ 前回保存した設定情報から変更があった場合は、以下のような画面が表示されます。[はい] をクリックし、変更された設定情報を保存します。保存する手順については、「設定情報ファイルの作成」(P.5) の手順 5 を参照してください。

**2** 「設定情報の送信」画面で機械管理者 ID および機械管理者パスワードを入力します。 **補足**

- ・ [IP アドレス / ホスト名]、[グループ]、[シリアル番号]、および「設置場所」には [複合機の登録] 画面の設定内容が表示されます。詳しくは、「[複合機の登録] 画面」(P.9) を参照してください。
- ・ [ファイル出力] を押すと、設定内容リスト (zip 形式) を任意の場所に保存できます。保存しておくと、複合機に送信した設定内容を確認することができます。

**3** 設定情報を送信する複合機にチェックをつけ、[送信] をクリックすると、選択した複合機に設定情報が送信されます。 **参照**

- ・ 設定情報が送信できない場合は、「設定情報を送信できない / 送信したが複合機に反映されない」(P.17) を参照してください。

 **補足**

- ・ [すべて選択] をクリックすると表示されているすべての複合機にチェックがつきます。[選択解除] をクリックすると、選択されていた複合機のチェックが外れます。
- ・ [ステータス] には送信の進捗状況が表示されます。送信に成功すると「設定完了」、失敗すると「失敗 (失敗原因)」が表示されます。
- ・ 設定情報の送信を中止する場合は、[キャンセル] をクリックしてください。ただし、すでに送信が完了している場合はキャンセルすることはできません。
- ・ 本ツール上では、送信した設定情報の内容が複合機に反映されているかどうかを確認することはできません。複合機を操作し、設定内容が反映されていることを確認してください。

**設定情報の復元**

設定済みの情報を複合機から読み出し、設定情報ファイルを復元します。

この機能は、本ツールを使って設定した複合機で利用できます。

設定情報の読み込みを実行すると、まず指定した複合機の設定情報が読み込まれ、その後、読み込んだ設定情報に登録されたすべての複合機の設定情報が読み込まれます。

設定情報は、指定した複合機の情報で復元されます。ただし、指定した複合機の情報だけで復元できない値は、ほかの複合機の情報から復元されます。

ほかの複合機の情報からも復元できなかった場合は、初期値になります。

**操作手順****1** サーバーレスオンデマンドプリント設定情報作成ツールを起動します。 **補足**

- ・ [セキュリティの警告] 画面が表示された場合は、[実行] を押して続行してください。

**2** [設定] タブで、[どこでもプライベートプリント]、または [ID 選択プリント] をクリックします。**3** [ファイル] メニューから [複合機からの設定の読み込み] を選択します。

## 4 次の操作をします。

- (1) 設定情報を読み込む複合機の、機械管理者 ID とパスワード、IP アドレス、SSL の有効 / 無効、およびポート番号を設定します。

ポート番号は、SSL が有効で、デフォルトポート番号 (443) 以外を使用している場合に入力します。

- (2) [開始] をクリックします。

指定した複合機の設定情報が読み込まれます。

設定情報の読み取りが完了すると、指定した複合機にリモート機として登録されている複合機の一覧が表示されます。

一覧に表示された複合機からも、設定情報が読み込まれます。

読み込まれた設定情報から復元された値が、設定情報作成ツールに反映されます。

## 5 読み込みが完了したら、[キャンセル] をクリックして画面を閉じます。



### 注記

- ・読み込みが完了する前に [キャンセル] をクリックすると、設定情報の読み込みが中断されます。

## 6 [ファイル] メニューから [設定情報ファイルの保存] を選択します。

## 7 設定情報ファイルを保存する場所を指定し、任意のファイル名を入力して保存します。



### 補足

- ・設定情報ファイルの種類は [xml] で保存してください。その他の種類で保存すると、正しい設定情報ファイルが作成されません。

## 付録

### [文書の表示順] / [全文書選択時のプリント順] の設定例

[文書の表示順]、および [全文書選択時のプリント順] の設定例を、目的別に説明します。



### 補足

- ・どこでもプライベートプリント V5.x 以前、および ID 選択プリント V1.x をお使いの場合は、一部の動作に制限があります。詳しくは、「どこでもプライベートプリント V5.x 以前 / ID 選択プリント V1.x をお使いの場合の注意 / 制限事項」(P.19) を参照してください。

### すべての文書を選択したときに、常に日時の古い順にプリントしたい

冊子を分割してプリント指示し、ページの順番どおりにプリントする場合などは、本ツールで、次のように設定すると便利です。

- ・ [文書の表示順] : [日時の古い順]
- ・ [全文書選択時のプリント順] : [日時の古い順]



### 注記

- ・どこでもプライベートプリント V4.x をお使いの場合は、次の制限事項があります。
  - 本ツールでの [文書の表示順] の設定にかかわらず、文書は常に日時の新しい順に表示されます。
  - 100 文書以上蓄積すると、新しい 99 文書が日時の古い順にプリントされますのでご注意ください。
- ・どこでもプライベートプリント V5.x、および ID 選択プリント V1.x をお使いの場合は、次の制限事項があります。
  - 本ツールでの設定は反映されますが、複合機側で [文書の表示順] を [日時の新しい順] に変更すると、プリント順も日時の新しい順に変更されます。日時の古い順にプリントする場合は [文書の表示順] の設定を変更しないでください。

### すべての文書を選択したときのプリント順をよく切り替える

日時の古い順にプリントするか、日時の新しい順にプリントするかをよく切り替える場合は、本ツールで次のように設定しておき、プリントするときに複合機側で [文書の表示順] を変更すると便利です。

- [文書の表示順] : [日時の新しい順] または [日時の古い順]
- [全文書選択時のプリント順] : [[文書の表示順] の設定に従う]

#### 注記

- どこでもプライベートプリント V4.x をお使いの場合は、複合機側でユーザーがプリント順を切り替えることができません。本ツール、または複合機側の管理者設定の [全文書選択時のプリント順] で、よく使うほうに設定して下さい。

## 3 アンインストール時の作業

お客様自身で機械からサーバーレスオンデマンドプリントをアンインストールした場合は、設定情報作成ツールの撤収機能を使用し、機械に保存されている設定を初期化します。

また、他の機械で引き続きサーバーレスオンデマンドプリントを使用する場合は、それらの機械に対し設定情報を再送信してください。

### 注記

- ・サーバーレスオンデマンドプリントのアンインストールは、必ず撤収機能を使用する前に実施してください。

### 補足

- ・撤収機能は、設定情報作成ツール V5.0 以降で使用できます。
- ・設定情報作成ツール V4.0 以前で作成した設定情報ファイルを読み込んだ場合は、正しく動作しないことがあります。

## 撤収

サーバーレスオンデマンドプリントをアンインストールした機械に保存されている設定を初期化します。

### 操作手順

- 1 サーバーレスオンデマンドプリント設定情報作成ツールを起動します。
- 2 [撤収] タブをクリックし、[アンインストール時の初期化] のボタンをクリックします。
- 3 [アンインストール時の初期化用ツール] 画面の [ファイル] メニューから、[設定情報ファイルの読み込み] を選択します。
- 4 サーバーレスオンデマンドプリントのアンインストール前に作成した設定情報ファイルを選択し、[開く] をクリックします。
- 5 機械管理者 ID および機械管理者パスワードを入力します。
- 6 引き続きサーバーレスオンデマンドプリントを使用する機械がある場合はチェックを外し、[送信] をクリックします。
- 7 [はい] をクリックします。  
対象の機械が再起動します。
- 8 [送信結果] ダイアログが表示されるので結果を確認し、[OK] をクリックします。
- 9 対象の機械の [ステータス] が [撤収済み] になっていることを確認し、[終了] をクリックします。

### 補足

- ・[ステータス] が [失敗 ( )] となっている場合は、( ) 内の原因を確認し、送信し直してください。

撤収済みの機械の情報を削除した状態で、設定情報ファイルを保存するかどうかを確認するダイアログボックスが表示されます。

- 10** お使いのすべての機械からサーバーレスオンデマンドプリントをアンインストールした場合は、[いいえ] をクリックしてツールを終了してください。引き続きサーバーレスオンデマンドプリントを使用する機械がある場合は、[はい] をクリックして設定情報ファイルを保存し、「残りの機械の再設定」(P.15) に進んでください。

## 残りの機械の再設定

引き続きサーバーレスオンデマンドプリントを使用する機械がある場合は、それらの機械に対し設定情報を再送信してください。

### 操作手順

- 1** 各設定ツールのメイン画面を表示するかどうかを確認するダイアログが表示されるので、[はい] をクリックします。  
 **補足**  
・各設定ツールのメイン画面は、すでに設定情報ファイルが読み込まれた状態で表示されます。
- 2** 必要に応じて、「設定情報ファイルの作成」(P.5) の手順 3 以降を参照して設定を変更し、設定情報ファイルを保存します。
- 3** 「設定情報の送信」(P.10) を参照し、変更した設定情報を機械に送信します。

## 4 トラブル対処

本ツールを使用中に何らかのトラブルが発生した場合の処置について説明します。  
 トラブルが発生した場合は、以下の表で状態を確認してください。

### 本ツールが起動しない

症状	原因 / 処置
UserTool.exe をダブルクリックしてもサーバーレスオンデマンドプリント設定情報作成ツールが起動しない。	<p><b>【原因】</b> 次の原因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本ツールに必要な動作条件を満たしていません。</li> <li>2. 本ツールのファイル構成が壊れています。</li> </ol> <p><b>【処置】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 については、動作条件を満たす環境で本ツールを起動してください。</li> <li>2 については、本ツールを再度ダウンロードして、もう一度サーバーレスオンデマンドプリント設定情報作成ツールを起動してください。</li> </ol>

### 設定情報ファイルを読み込めない

症状	原因 / 処置
設定情報ファイルを読み込めない。	<p><b>【原因】</b> 次の原因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 設定情報ファイルが壊れています。</li> <li>2. 設定情報ファイルに読み取り権限がありません。</li> </ol> <p><b>【処置】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 については、本ツールで設定情報ファイルを作成して、もう一度設定情報ファイルを読み込んでください。</li> <li>2 については、設定情報ファイルのアクセス権に読み取り権限を設定して、もう一度設定情報ファイルを読み込んでください。</li> </ol>

### 設定情報ファイルを保存できない

症状	原因 / 処置
設定情報ファイルを保存できない。	<p><b>【原因】</b> 次の原因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保存先として指定したフォルダーが存在しません。</li> <li>2. 保存先のフォルダーまたはファイルの書き込み権限がありません。</li> </ol> <p><b>【処置】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 については、設定情報ファイルを保存するフォルダーを作成して、もう一度設定情報ファイルを保存してください。</li> <li>2 については、別の場所を指定してもう一度設定情報ファイルを保存してください。または、保存先フォルダーまたはファイルのアクセス権に書き込み権限を設定して、もう一度設定情報ファイルを保存してください。</li> </ol>

## 設定情報を送信できない／送信したが複合機に反映されない

症状	原因 / 処置
設定情報を送信できない。	<p><b>【原因】</b> 次の原因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 複合機の電源が入っていません。</li> <li>2. 複合機が使用中です。</li> <li>3. 本ツール上で設定された機械管理者 ID または機械管理者パスワードが複合機の設定と一致していません。</li> <li>4. 機械管理者 ID または機械管理者パスワードの最大入力回数を超えたため、複合機へのアクセスが拒否されています。</li> <li>5. ネットワーク接続設定に誤りがあります。</li> <li>6. [複合機の登録] 画面の SSL またはポート設定に誤りがあります。</li> <li>7. 複合機にインストールされているサーバーレスオンデマンドプリントのバージョンが送信機能に対応していません。</li> <li>8. お使いのコンピューターと複合機が通信するために必要なポート番号が使用できません。</li> </ol> <p><b>【処置】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 については、機械の電源を入れてください。</li> <li>2 については、しばらく待ってから再度操作してください。</li> <li>3 については、本ツールと複合機とで機械管理者 ID または機械管理者パスワードの設定を一致させてください。</li> <li>4 については、複合機を再起動してください。</li> <li>5 については、複合機とお使いのコンピューターのネットワーク設定を確認してください。</li> <li>6 については、SSL またはポート設定を確認してください。</li> <li>7 については、レポートまたはインターネットサービスに表示されるプラグイン一覧の中に "ServerlessOnDemandPrintSettingPlugin" があることを確認してください。詳しくは、お使いの機械のマニュアルを参照してください。</li> <li>8 については、お使いのルーターで、[どこでもプライベートプリント用ツール] をお使いの場合は [58051] または [58551]、[ID 選択プリント用ツール] をお使いの場合は [58052] または [58552] のポート番号が使用できる設定になっていることを確認してください。</li> </ol>
設定情報を送信したが、複合機に反映されない。	<p><b>【原因】</b> 運用しているアプリケーションと異なるツールを使用しています。</p> <p><b>【処置】</b> 保存した設定情報ファイルをお使いのアプリケーション用ツールで読み込み、保存し直してから、送信してください。</p>

## 複合機から設定情報を読み込めない

症状	原因 / 処置
複合機から設定情報を読み込めない。	<p><b>【原因】</b> 次の原因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 複合機の電源が入っていません。</li> <li>2. 複合機が使用中です。</li> <li>3. 本ツール上で設定された機械管理者 ID または機械管理者パスワードが複合機の設定と一致していません。</li> <li>4. 機械管理者 ID または機械管理者パスワードの最大入力回数を超えたため、複合機へのアクセスが拒否されています。</li> <li>5. ネットワーク接続設定に誤りがあります。</li> <li>6. [複合機の登録] 画面の SSL またはポート設定に誤りがあります。</li> <li>7. 複合機にインストールされているサーバーレスオンデマンドプリントのバージョンが、外部から設定情報の取得機能に対応していません。</li> <li>8. お使いのコンピューターと複合機が通信するために必要なポート番号が使用できません。</li> </ol> <p><b>【処置】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 については、機械の電源を入れてください。</li> <li>2 については、しばらく待ってから再度操作してください。</li> <li>3 については、本ツールと複合機とで機械管理者 ID または機械管理者パスワードの設定を一致させてください。</li> <li>4 については、複合機を再起動してください。</li> <li>5 については、複合機とお使いのコンピューターのネットワーク設定を確認してください。</li> <li>6 については、SSL またはポート設定を確認してください。</li> <li>7 については、レポートまたはインターネットサービスに表示されるプラグイン一覧の中に "ServerlessOnDemandPrintSettingPlugin" があること、およびバージョンが 1.1.0 以降であることを確認してください。詳しくは、お使いの機械のマニュアルを参照してください。</li> <li>8 については、お使いのルーターで、[どこでもプライベートプリント用ツール] をお使いの場合は [58051] または [58551]、[ID 選択プリント用ツール] をお使いの場合は [58052] または [58552] のポート番号が使用できる設定になっていることを確認してください。</li> </ol>

## 本ツールの設定内容を初期化できない

症状	原因 / 処置
本ツールの設定内容を初期化できない。	<p><b>【原因】</b> 初期設定情報ファイルの読み込みに失敗しました。</p> <p><b>【処置】</b> 本ツールを再度ダウンロードして、もう一度設定内容を初期化してください。</p>

## 5 注意 / 制限事項について

### どこでもプライベートプリント V5.x 以前 / ID 選択プリント V1.x をお使いの場合の注意 / 制限事項

設定情報作成ツール V4.0 以降では、[文書の表示順] と [全文書選択時のプリント順] の両方を設定できるようになりました。

どこでもプライベートプリント V6.x、および ID 選択プリント V2.x をお使いの場合は、本ツールでの設定どおりに動作しますが、どこでもプライベートプリント V5.x 以前、および ID 選択プリント V1.x をお使いの場合は、本ツールでの [文書の表示順] と [全文書選択時のプリント順] の設定通りに動作しないことがあります。

詳しくは、次の表をご覧ください。

### どこでもプライベートプリント V4.x をお使いの場合

#### 補足

- ・下線部が、本ツールでの設定どおりに動作しない箇所です。

設定情報作成ツール V5.0 の設定 (コンピューター側の設定)		どこでもプライベートプリント V4.x の動作 (複合機側の設定)	
文書の表示順	全文書選択時のプリント順	文書の表示順	全文書選択時のプリント順
日時の新しい順	<u>文書の表示順に従う</u> <sup>*1</sup>	日時の新しい順	<u>日時の新しい順</u> <sup>*1</sup>
日時の新しい順	日時の新しい順	日時の新しい順	日時の新しい順
日時の新しい順	日時の古い順	日時の新しい順	日時の古い順
<u>日時の古い順</u> <sup>*2</sup>	<u>文書の表示順に従う</u> <sup>*1</sup>	<u>日時の新しい順</u> <sup>*2</sup>	<u>日時の古い順</u> <sup>*1</sup>
<u>日時の古い順</u> <sup>*2</sup>	日時の新しい順	<u>日時の新しい順</u> <sup>*2</sup>	日時の新しい順
<u>日時の古い順</u> <sup>*2</sup>	日時の古い順	<u>日時の新しい順</u> <sup>*2</sup>	日時の古い順

\*1: 本ツールで [全文書選択時のプリント順] を [文書の表示順に従う] に設定した場合、どこでもプライベートプリント V4.x ですべての文書を選択したときのプリント順は、本ツールの [文書の表示順] の設定に従います。

\*2: どこでもプライベートプリント V4.x では、本ツールでの設定にかかわらず、文書は常に日時の新しい順に表示されます。

### どこでもプライベートプリント V5.x、および ID 選択プリント V1.x をお使いの場合

#### 補足

- ・下線部が、本ツールでの設定どおりに動作しない箇所です。

設定情報作成ツール V5.0 の設定 (コンピューター側の設定)		どこでもプライベートプリント V5.x、および ID 選択プリント V1.x の動作 (複合機側の設定)	
文書の表示順	全文書選択時のプリント順	文書の表示順	全文書選択時のプリント順
日時の新しい順	<u>文書の表示順に従う</u>	日時の新しい順	<u>文書の表示順に従う</u>

設定情報作成ツール V5.0 の設定 (コンピューター側の設定)		どこでもプライベートプリント V5.x、および ID 選択プリント V1.x の動作 (複合機側の設定)	
文書の表示順	全文書選択時のプリント順	文書の表示順	全文書選択時のプリント順
日時の新しい順	日時の新しい順 <sup>*1</sup>	日時の新しい順	文書の表示順に従う <sup>*1</sup>
日時の新しい順	日時の古い順 <sup>*1</sup>	日時の古い順 <sup>*2</sup>	文書の表示順に従う <sup>*1</sup>
日時の古い順	文書の表示順に従う	日時の古い順	文書の表示順に従う
日時の古い順	日時の新しい順 <sup>*1</sup>	日時の新しい順 <sup>*2</sup>	文書の表示順に従う <sup>*1</sup>
日時の古い順	日時の古い順 <sup>*1</sup>	日時の古い順	文書の表示順に従う <sup>*1</sup>

\*1: どこでもプライベートプリント V5.x、および ID 選択プリント V1.x では、すべての文書を選択した場合、本ツールでの設定にかかわらず、常に文書の表示順にプリントされます。

\*2: どこでもプライベートプリント V5.x、および ID 選択プリント V1.x での文書の表示順は、本ツールの [全文書選択時のプリント順] の設定に従います。そのため、設定の組み合わせによっては、本ツールの [文書の表示順] の設定と動作が異なることがあります。